

## 瑞宝双光章の叙勲を受けました

(財) 埼玉県健康づくり事業団  
小島 精一



埼玉県放射線技師会会員の皆さまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、社団法人埼玉県放射線技師会のご推薦により平成23年秋の叙勲におきまして、はからずも瑞宝双光章の榮に浴することが出来ました。

もとより浅学非才で、さほどの功績はありません。強いて言うなら埼放技役員に十数年在籍したことや消化器がん検診学会世話人を長く努めてきたこと、東松山市立市民病院で放射線科部長に就任した程度で、全て周りの支えのお陰です。何よりも、この叙勲は小川会長をはじめとする理事各位や会員の皆さま方、加えて諸先輩方々のご厚情によるもので、衷心より厚くお礼を申し上げます。

去る平成23年11月3日の新聞発表、翌4日埼玉県知事公館での勲記・勲章の伝達式および知事・授章者・副知事を含む県幹部職員とのティーパーティーに出席し、中庭で知事とのツーショットを撮るなど貴重な体験をしました。11月15日(火)には厚生労働省での授章記念式典に参列、引き続き皇居(豊明殿)での天皇陛下のご拝謁の榮を賜りました。今回の拝謁では、天皇陛下ご入院中のため、陛下ご自身の拝謁は出来ませんでした。皇太子殿下も陛下の代役で都合がつかず、秋篠宮殿下が初めて陛下のご名代をお務めになりました。秋篠宮殿下の優しいお人柄と皇居内の荘厳な建築物、豊明殿での拝謁を経験し改めて叙勲の重さを感じました。これら一連の儀式はこれまで経験がなく、私にとって生涯最高の思い出になると思います。皆さま方の長年にわたるご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げた一日でございました。

今後は一層精励し、いささかなりともご芳情に報いたいと存じますので、何卒従前の厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、社団法人埼玉県放射線技師会の益々の発展と会員の皆さま方のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、謹んでお礼のご挨拶とさせていただきます。

## 公衆衛生事業功労者表彰を受賞して

埼玉社会保険病院  
松坂 宏夫



この度、平成23年11月18日に埼玉県民健康センターで開催された「第55回埼玉県公衆衛生大会」に於いて、公衆衛生事業功労賞を受賞することが出来ました事を大変光栄に存じます。これもひとえに、小川会長をはじめ、推薦して戴きました埼玉県放射線技師会役員の方々のお陰と感謝に堪えません。

私が技師会の仕事に携わったのが平成元年ですので、早23年前になります。当時何もわからず役員の方々に迷惑ばかりかけていたような気がします。そんな私を温かくご指導して下さいました当時の役員の方々のお陰で、今の私があると思っております。また、会務に対しご理解ご協力を戴いた職場の皆さまに対しても、本当にお礼と感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も埼玉県放射線技師会には、どんな形にせよ微力ながら協力を出来ればと考えております。まだまだ未熟な私ですので、今後とも皆さま方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりますが埼玉県放射線技師会の益々の発展と、役員皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

## 平成23年度 役員研修会報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
副会長 橋本 里見

平成23年11月22日(火)、大宮ソニックシティ会議室において、平成23年度役員研修会を開催した。理事に各委員会委員と地区役員を加え、総勢27名が参加し「技師会活動について」をテーマとして、参加者全員で討論会を行った。講師(理事)3名がそれぞれ技師会活動についての意見を発表し、その内容から論点を見出し討論した。田中常任理事は技師会活動のメリット・デメリットについて、矢崎理事は地区理事の立場から地区会活動について、佐々木理事は技師会の位置づけと今後の活動について、各々意見を述べた。

発表後の討論会では、特に役員として技師会活動を行う上でのデメリットと職場の理解について活発な討論を行った。新執行部として約8カ月が経過したが、講義や討論会を通じて公益法人組織の役員としての目的を共有し、県民と会員のための法人であることを常に意識し、今後の会務に繋げていきたい。

また、役員受諾について職場の理解が得られないということが、少なからずあるという点も指摘され、執行部として技師会事業運営方法の見直しを検討する必要性を感じた。

今後、本会が発展し続けるには理事候補者として有能な人材の発掘が必須である。理事の負担を軽減した会の運営を模索しつつ、役員研修は継続していきたい。

総務委員会常任理事 芦葉 弘志

今回の役員研修会は、「技師会活動について」という演題の基に行った。開催側として、事前に次の点を演者と打ち合わせした。

### 講義内容

1. 施設案内 施設規模、施設母体、病院理念や施設についてのアピール
2. 自己紹介 技師学校卒業からの略歴など、認定資格、専門モダリティ、院内委員会、所属学会
3. 技師会活動
  - (ア) 技師会活動のきっかけ
  - (イ) 技師会に対する自分自身の考え
  - (ウ) 技師会活動での苦勞した点、良かった点
  - (エ) 技師会活動から得た職場でのメリット・デメリット
  - (オ) 印象に残る行事
  - (カ) 感銘を与えた先輩や後輩
  - (キ) その他
4. 今後の技師会に期待すること、行ってみたいこと、展望
5. その他訴えたいことがあれば自由に作成

各演者の講演は、大変興味深いエピソードが多く、今後の技師会活動をする上での見聞が広がった。また会場には管理職の方々が多く出席していたため、討論時に「技師会活動と職場」について意見をうかがう事が出来た。こちら会場でしか聞けない貴重な意見の数々であった。なお、参加者については以下の通りである。今後とも継続開催の事業として、充実した研修会を行っていきたい。

### 出席者(敬称略)

小川 清	堀江 好一	橋本 里見	結城 朋子	田中 宏	芦葉 弘志	潮田 陽一
富田 博信	中村 正之	栗田 幸喜	今出 克利	佐々木 健	星野 弘	大西 圭一
庭田 清隆	矢崎 一郎	石川 直哉	尾形 智幸	大森 正司	横山 寛	越沼 沙織
岡田 智子	城處 洋輔	清水 邦昭	宮崎 雄二	志田 智樹	志藤 正和	

## 平成23年度 MRI基礎講習会開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
 学術委員会理事 栗田 幸喜

平成23年11月5日(土)、26日(土)の2日間にわたり、さいたま赤十字病院で行われた平成23年度MRI基礎講習会が無事終了しました。

今回の基礎講習会は埼玉県放射線技師会とSAITAMA MRI Conference (SMC) との合同企画として開催され、初日は35名、2日目は24名と会員・非会員合わせて多数の方に受講していただきました。内容および講師は以下の通りです。

平成23年11月5日(土)

基礎講座 (1) 「緩和とコントラスト」	埼玉医科大学病院	平野 雅弥
性能評価 (1) 「T1値・T2値の測定」	済生会川口総合病院	浜野 洋平
性能評価 (2) 「スライス厚の測定」	さいたま市立病院	藤田 功

平成23年11月26日(土)

基礎講座 (2) 「パラメータと画質」	済生会栗橋病院	栗田 幸喜
性能評価 (3) 「SNRの測定」	獨協医科大学越谷病院	宿谷 俊郎
性能評価 (4) 「均一性の測定」	済生会栗橋病院	渡邊 城大

今回の講習会は『MRIの基礎講座』と、磁気共鳴専門技術者認定試験に必要な『性能評価試験』について、専門技術者に認定された講師の方々を中心にご講演していただきました。

磁気共鳴専門技術者認定試験における性能評価試験は、MR装置のメーカーにより測定困難な試験や、測定用ファントムを自作する必要があるなど簡単にいかない場合があります。講師の方々には、メーカー間の違いや工夫する点などについて詳しくお話していただきました。講演の後半は、事前に用意した測定データを使用して受講者の方に測定データの計算・処理を実際に行っていただきました。また受講者の方には、自施設での測定の参考となるように、測定原理や測定方法をまとめたテキストを配布しました。

最終日に実施したアンケート調査から、『MRI初心者の自分にとって基礎講座はとても分かりやすかった』、『自施設のMR装置の測定法や癖などが理解できた』など有り難い意見をいただきました。半面『会場のスライドが見えづらい』、『開催日は平日のほうが参加しやすかった』など今後の活動に参考となる意見もいただきました。

最後になりますが、ご講演していただいた講師の皆さま、会場準備にご協力いただいた埼玉県放射線技師会の皆さま、および講習会に参加していただいた受講者の皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。(講師代表：浜野洋平)

## 彩の国いきいきフェスティバル参加報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
公益委員会理事 星野 弘

平成23年11月6日(日)、伊奈町の埼玉県民活動総合センターにて、「彩の国いきいきフェスティバル」が開催されました。今年で10回目を迎えたこのイベントに、(社) 埼玉県放射線技師会として初めて参加しました。当日は雨模様でしたが、18,000人を超える来場者があり大変賑わっていました。

このイベントは、県内で活動している団体が参加し、日頃の成果を発表します。参加団体は100を超え、蕎麦打ち実演販売や茶道の体験、道化師によるパントマイムや紙芝居などが行われていました。また車(Formula 3000)の展示や移動水族館などもあり、お子様からお年寄りまで世代を超えて楽しんでいました。

私たちの活動内容としては、超音波骨密度測定、放射線被ばく相談やパネル展示による医療画像展を行いました。骨密度測定をされた方は225名、放射線被ばく相談は1名でした。来場された県民の皆さまに、私たち診療放射線技師の仕事内容や地域での公益活動、また健康診断を定期的に受診することの重要性をパネルや小冊子を使用してアピールしてまいりました。

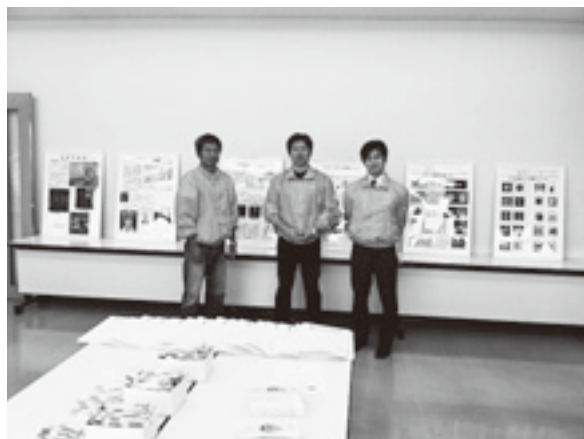
最後になりますが、私たち(社) 埼玉県放射線技師会は、会員の皆さまのお力を得て、これからも公益法人として公益業務を拡充するとともに、県民の皆さまが安心して放射線検査を受けられる様に、このようなイベントに積極的に参加し啓発していきたいと考えます。



会場の様子



(社) 埼玉県放射線技師会のブース



(社) 埼玉県放射線技師会のブース



会場の様子



会場の様子



美味しい！

## 平成23年度 第10回胸部認定講習会報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
 学術委員会理事 佐々木 健

平成23年12月4日に、第10回胸部認定講習会が終了しました。今年度は2日間で行っていた講習会を1日開催とし、2日目終了後に行っていた認定試験を、他の埼玉県放射線技師会認定と同日開催する事とし、受講者の負担軽減を図りました。

講習会参加人数は37名、県外からの参加者も2名おり、一般撮影の基礎である胸部単純撮影と、厚生労働省医政局長通達にもある読影の補助に対する関心の高さが見受けられました。

内容と講師は以下の通り

・胸部単純写真の撮影法	北里研究所メディカルセンター病院	小林 剛
・装置の基礎	株式会社島津製作所	高濱 公大
・胸部単純撮影の臨床と読影	なかた呼吸器内科クリニック	中田 正幸
・デジタルの基礎	キャノンマーケティングジャパン株式会社	向笠 恭司
・胸部のCT診断	羽生総合病院	染野 智弘
・診療放射線技師に必要な胸部単純撮影の読影 (初級編)	埼玉県立小児医療センター	田中 宏 (敬称略)

撮影方法、読影だけでなく機器特性や画像の成り立ちまで、診療放射線技師に必須の基本的技術論から臨床的な知識まで網羅されており、若い診療放射線技師からだけでなく中堅以上の方も振り返りという意味でも大変好評でありました。



講習会風景

講師もベテランの方々であり、当日は大きな問題もなく終える事ができました。ご協力頂いた方々には大変感謝しております。

認定試験は2月26日(日) 16:00~18:00、場所をさいたま赤十字病院に移して開催します。多くの認定者が出る事を願っています。